

令和6年6月18日
老人施設部会事務局

令和6年度「研修に関する希望調査」集計結果

■回答数：72

■ブロック：（豊能）8、（三島）8、（北河内）11、（中河内）16、（南河内）1、（泉州）7、
（大阪市）13、（堺市）8

1. 開催方法に関して（※複数選択可）

講義のみであればオンラインが良い	41	32%
グループワークがあれば集合開催が良い	28	22%
集合開催が良い	25	20%
集合とオンラインのハイブリット型が良い	23	18%
集合開催の場合、施設の近隣でないと参加できない	10	8%

2. 階層別研修（※複数選択可）

中堅職員研修	63
若手職員研修	36
管理職研修	35
新人研修	30
トップマネジメント研修	18
介護福祉士ファーストステップ研修	6
入職前研修	3

3. テーマ別（※複数選択可）

リーダーシップ研修	42
マネジメント研修	33
コーチング	30
ハラスメント（パワハラ、セクハラ等）	29
チームビルディング	26
カスタマーハラスメント	24
メンター研修（メンタリングに必要な力を育成する）	22
人事評価研修（制度設計、評価者、考課者研修）	18
労務管理	17
ファシリテーション	16
女性活躍推進研修	7
LGBT研修	4

4. 福祉・介護分野に関する研修（※複数選択可）

認知症ケア（※認知症基礎研修とは異なる）	47
介護技術	42
虐待防止	42
介護報酬改定（新しい加算）に関する実務研修	40
テクノロジーの活用（介護ロボット・ICT）	24
BCPの施設研修・シミュレーションについて	22
介護の日本語研修（外国人職員向け）	21
外国人の育成・定着に関する研修	16
介護支援専門員にかかる医療との連携に関する研修	14
中間的就労	5
居住支援法人	2

5. ブロック別の生活相談員の研修会があれば参加しますか（参加させますか）

参加する（参加させる）	51	71%
どちらとも言えない	18	25%
参加は難しい	3	4%

6. 職種別の研修・意見交換会（※複数選択可）

生活相談員	55
介護職員	44
介護主任	42
看護師	35
栄養士	33
施設長・管理者	32
介護支援専門員	31
事務員	32
セラピスト（PTやOT等）	4
その他（※）	3
歯科衛生士	1

※その他を選択した場合、具体的な職種等を記入してください。

- 階層別研修に含まれるかもしれませんが、次世代管理者・リーダーの意見交換会・交流会
- 女性活躍推進ではなく、女性リーダーを労う研修
- 職種別と重複する場合がありますが、主任・リーダー研修
- 機能訓練指導員

7. その他、研修に関するご意見やご希望など、自由にご記入ください。

- ハラスメントまではいかなくても、**女性職員の為のハラスメント研修**があればありがたいです。職場内では業務を円滑に進めてもらうためにも仲良くしてほしいものですが、陰口や悪口、ちょっとした嫌がらせ的な話をよく聞きます。必ずしも女性だけとは思いませんが、少しでも意識してもらえるきっかけになるような研修。
- ブロック別で研修会を行った場合、**施設の会議室をお借りして見学会**も兼ねて参加できたらよい
- 案内文にあった通り、職員確保が困難なこともあり研修に行かされる職員が少なくなっている。ただ勉強したい思いは多く、機会を得られていない職員も多い。当施設においては、内部研修においても**超過勤務で実施している。17時～の研修であれば、超過勤務で研修参加しやすい**と考えます。
- 介護保険施設は非常に厳しい現状であると同時に、地域差、法人の取り組みによる差が非常に大きく、一概に同じ境遇ではないと考えている。社会福祉法人も吸収合併されていく時代であり、**自施設(法人)の特色を発揮できるような研修**があれば良いと思う。
- 介護報酬改定に伴い、様々なテーマの研修が必須となり、**施設内伝達研修で参考になる研修**があれば助かります。
- **外国人に対してのリーダー研修**
- **研修費用が高い**と思います。部会費を払っているのですから、会員は無料もしくはもっと低額にすべき。また、**系統立てた研修体系の構築**をして頂けると有難いです。
- **施設内外で研修講師ができるように**、講師の心構え、教授法、講義の組み立て方など人前に立ち話せるような学びや経験を積んでほしい。実際に授業案を作ったり、人前で説明するなどの**演習を体験**してほしい。
- 社会人としての基本スキルが足りない転職者が増えている。マナー研修もされているが、その回数を増やしたり、**社会人としてのスキルアップを図れる研修機会**があればよいと思う
- 集合開催には参加は難しいです
- 新しく職員が入ってきて、十分な研修を行えない中、**施設内で介護技術が劣化**しているように思っています。外部の方に講義(座学ではなく体を動かす講座)いただき、凝り固まった頭を少しでも柔らかくして、利用者に還元できるような研修を望みます。
- ノーリフトが叫ばれている時代ですが、全ての施設で全ての場面でノーリフトという訳にもいかないと思います。「**こういう場面では、このような移乗介助をする**」といった**現実に即した形で、体格の小さな職員でも行える方法**など、教えていただきたい。
- 大阪府は全国でも珍しく付属診療所を持っている社会福祉法人の施設が多いです。レセプトに関しても、独自の請求方法があります。また請求事務も事務員が行っているところも少なくないはず。また医師会に加入してない場合も多いと思います。介護報酬改定についても制度変更が大変ですが、医療報酬の改定時も事務員はどうか変わったのか、調べたりもしますが、大変です。医療報酬改定の研修に参加もしますが、一般診療所の改定内容が多く、付属診療所の独自改定などの話は無いようです。府社協主催の

診療所医療報酬改定の研修を早急に検討してほしく切に希望します。

- 日時が合い、開催場所が近ければできるだけ現地集合で参加したい。
- **弁護士を講師に迎えて苦情に対する事例検討会**や職員の権利擁護、入居者からの職員へのセクハラやカスタマーハラスメントの事例報告会とその対応説明など
- **施設職員は外に出る機会が無いので、良い機会だと思います。**できるだけ**グループワーク**を取り入れていただき、他法人の方とも知り合いになれると世界が広がると思います。
- 新しい考え方を学ぶ機会、**専門性を追求する機会**も欲しいと感じています。前者は、株式などにも学べたらどうかと思います。後者は、**先端の考え方**を学べたらと思います。
- 地域社会の一員としての福祉施設が、地域社会の一機能として、もっと**地域に融合し、機能を生かし、機能をアップする方策・仕組みづくり**が出来ないかを考えられる研修があればいいですね。